

地域のみなさまへ

入船小学校跡地の活用方針決定について 「水道の低区配水池の建設地とします」

平成30年3月に閉校した入船小学校の利活用に当たり、旧校区の町会役員のみなさま、そして、地域にお住まいのみなさまに向けて説明会を開催し、水道の低区配水池の建設地とすることについて御了承をいただきましたので、活用方針として決定したことをお知らせいたします。

■低区配水池について

現在の低区配水池は、旧入船小学校の西側約200mに位置しており、市内で最も大きな配水池です。築造から100年以上が経過しており、耐震化を含めた更新を行う必要があることから、低区配水池に近く、また敷地面積が十分確保できる旧入船小学校跡に、新たな低区配水池を建設します。

■建設方法について

- ①現在の校舎・体育館は解体し、その場所に配水池を建設する予定です。
- ②グラウンド部分は、将来に配水池を建設する用地として、また、災害時等の資材置き場や車両待機場として使用するため、水道局が管理する予定です。
- ③現在、学校敷地内にある通路は（入船側の校門から校舎の正面玄関に向かう道路）については、市の管理道路とする予定です。

■今後の想定スケジュール

今年度中に、測量・地質調査を実施します。（調査期間は4か月程度）。その後、施設的设计業務を行い、約2年後に工事を着手し、6年後に完成する予定です。

■低区配水池の建設に関するお問合せ

小樽市水道局整備推進課（担当：佐々木、岩本） 電話 32-4111 内線 580

■学校の跡利用に関するお問合せ

小樽市総務部企画政策室（担当：佐藤、石井） 電話 32-4111 内線 271